

In ひたちなか市

令和7年

12月 6日(土)



12月 26日(金)

9:00~17:00(入館は16:30まで)

常陸佐竹展

甲斐武田氏発祥の地に
佐竹氏水運の軌跡を探る

- 第1会場:ひたちなか市那珂湊支所・展示室
(ひたちなか市和田町2丁目12-1)
- 第2会場:武田氏館<常設展示のみ・月曜日は休館>
(ひたちなか市武田 566-2)

入館料
無料

主催: 常陸佐竹研究会

共催: ひたちなか市教育委員会

会場アクセス



2025企画展

常陸佐竹展 in ひたちなか市

—甲斐武田氏発祥の地に佐竹氏水運の軌跡を探る—

今回の常陸佐竹展では、ひたちなか市教育委員会が共催団体として関わっていただいております。

開催場所は、ひたちなか市那珂湊支所展示室が第一会場、武田氏館が第二会場です。武田氏館は常陸佐竹氏と兄弟関係である甲斐武田氏を顕彰する施設で、県北地域に所在する唯一の佐竹氏・武田氏関連展示施設であります。

今回は、「甲斐武田氏発祥の地に佐竹氏水運の軌跡を探る」をテーマに開催します。佐竹氏の約500年の歩みや、甲斐武田氏との係わり、那珂湊の水運、塩づくりや塩の道、ゆかりの城郭や寺院、国替えにより秋田に移った佐竹氏一族や家臣団の所在地など、ご当地・那珂湊の関係を可能な限り多方面から紐解き、常陸時代の佐竹氏とひたちなか市の係わりを探ってみました。

地域には積み重ねられた時間があります。それは常に人々の選択の結果です。その集合体としての「歴史」は人々の思いでいっぱいです。常陸時代、佐竹氏は約970家の家臣を有しておりました。奥七郡の歴史はその家臣たちによってつくられてきました。

あなたのご先祖ももしかしたら佐竹氏の家臣だったのではありませんか。ぜひ、その手がかりを今回の常陸佐竹展で探してみてください。



武田氏館（源義清と清光親子像）



桐高船（那珂川町郷土資料館蔵）



「千々乱風伝説の砂丘」2023年栗田健史作

関連イベント ● 記念講演

演題：「甲斐武田氏と常陸佐竹氏 ー戦国時代を中心にー」

山梨県立博物館 学芸員 海老沼真治氏

日時：12月14日(日) 午後1時30分～3時

会場：那珂湊コミュニティセンター

(ひたちなか市鍛冶屋窪 3566)

定員：先着 150名 参加費：無料

※連絡先：事務局 引田まで090-8854-9510



佐竹氏家臣の兜
個人蔵



佐竹氏家臣の火縄銃 個人蔵

常陸佐竹研究会プロフィール

本研究会は、佐竹氏および一族や家臣に関する事跡と佐竹氏を支えた社会・経済・文化等を会員自らが調査研究することを目的に、平成21年(2009)に創設されました。

4つの方策として、①例会の開催 ②県外視察 ③企画展の開催 ④機関誌の発行を基本に研究会活動を展開しています。年4回の例会では、座学と現地視察を実施し、佐竹氏や家臣団の歴史を学んでいます。年1回県外視察を実施し、これまで秋田、神奈川、山梨、埼玉、福島などを訪ね、佐竹氏ゆかりの史跡を見学してきました。

研究成果の紹介の場として、企画展の開催と機関誌の発刊を実施しています。企画展は、佐竹氏の歴史と文化を広く地域に発信することを目的に、これまで常陸太田市、常陸大宮市、大子町、那珂市、水戸市、城里町、日立市の7会場で開催してきました。また、年1回機関誌『常陸之佐竹』を発刊し、すでに13号を数えています。ネットワークの進展に伴い、広報活動の一環として本会ではホームページを開設し、活動の様子を発信しています。

現在、会員相互の親睦を大切にしながら10代から80代までの幅広い年齢層による会員130名がそれぞれの分野で活動を行っています。年会費は3000円です。

入会をご希望されたい方は、スタッフまでお気軽に声をおかけください。